



このままでは現状の  
運行規模の維持は困難

持続可能な公共交通を守るために…

- 路線バスを多くの人に利用してもらい、運賃収入を増やす
- バス路線の廃止や減便による運行経費の削減（合理化）

江別市地域公共交通活性化協議会で  
地域公共交通網形成計画を策定

↓  
地域の実情に合わせた

持続可能な公共交通を実現



バス路線を維持していくための  
ご意見をお寄せください

バスの利用促進策などについて、江別市地域公共交通活性化協議会での検討に活用するため、ご意見を募集します。

募集期間…10/16(月)～12/4(月) ※12/4必着

提出先…〒067-8674 高砂町6 政策推進課 ☎381-1071

E-mail : seisaku@city.ebetsu.lg.jp

意見の提出方法…住所・氏名とご意見を記載し、募集期間中に持参、郵送、ファクス、Eメールで提出先へ。

※電話では受け付けていません。

案内・参考資料の配布場所…市内各公共施設のほか、市ホームページにも掲載します。

意見の公開…ご意見は個人を特定せずに活用し、協議会の開催結果として市ホームページなどで公開します。なお、各意見に対して個別には回答しません。

江別市内のバス路線のうち、市内のみを毎日走る3路線だけでも、平成28年度は約4500万円の赤字になりました。市民の足であるバスを未来へ残すため、地域の実情に合わせた持続可能なバス路線の形成に向け、検討を進めています。

# 持続可能な公共交通網を目指して



## バス路線の現状

市内を運行する路線バスの年間利用者数は、平成18年度の約525万人に対し、平成28年度では約413万人となり、10年間で約112万人（2割強）減少しています。

利用者の減少に伴い、路線バス事業者の収支は悪化しており、市では、バス事業者に対して運行費用の一部を補助していますが、現状の運行規模をこのまま維持することは難しい状況といえます。

## 地域公共交通網形成計画の策定

現在、地域の実情に即した

持続可能な公共交通網を構築するため、公共交通事業者や利用者、学識経験者、関係機関などで構成する江別市地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通網形成計画」の策定作業を進めています。市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを図ることを主眼に置き、平成30年3月を目標に計画案をまとめ、同年10月から計画に基づく取り組みを開始します。

この計画案の策定に当たって、広く意見を聞きながら検討を重ねるため、左記の要領でご意見を募集します。  
〔詳細〕政策推進課公共交通担当 ☎381-1295